



日本共産党野洲市議団

JR西日本(京都支社)に要望

日本共産党湖南地区議員団は15日、JR西日本(京都支社)に対して、早期改善が求められている「柿の木原踏切」「新踏切」の拡幅などを要望しました。この交渉には、湖南地区の市議とともに野洲市議団(野並・太田市議)が参加しました。

危険な通学路

柿の木原踏切、新踏切の早期拡幅を

これに対して、JRは「危険な踏切である」との認識をしながらも、「踏切については立体化が望ましい」と強調。しかし、現実的には立体化と

交渉では、「野洲市としても、保護者からも危険な踏切の早期拡幅など安全対策実施を求めている。新踏切では、市としても既に歩道用地も確保しており早期に拡幅を行うよう」求めました。

子どもたちは通過する自動車に注意しながらの通学です。通学時は大変危険となっています。これまで、地元や保護者のみなさんから早期拡幅の要望がだされてきました。

子どもたちは通過する自動車に注意しながらの通学です。通学時は大変危険となっています。これまで、地元や保護者のみなさんから早期拡幅の要望がだされてきました。

踏切前で歩道が途切れ自動車も通り子どもが危険

JR西日本との交渉は、JRびわこ線及び草津線に関連する日本共産党市議が参加しました。この中で、共産党野洲市議団は、危険な「柿の木原踏切」「新(あたらし)踏切」の早期拡幅や「篠原駅改築にあたり、JRが応分の改築費の負担を行うこと」などを求めました。



柿の木原踏切 踏切の手前で歩道が途切れています



新踏切 狭い踏切内に子供や自動車危険です

いうよりも、現踏切の拡幅で安全対策を急ぐべき」と再度、早期の実施を求めました。引き続き、安全対策を求めがります。

野洲駅上下ホームに待合室が設置されます

交渉の中でJRは、「野洲駅の上下ホームに今年度、待合室を設置する」という回答がありました。現在、上りホームの屋根の延長工事が行われており、待合室ができれば木枯らしをしることができま

「中学校卒業までの医療費無料化」「消費税増税反対」の署名にご協力ください

3月定例議会

3月2日から開催されます(3月2日~26日)

暮らしが大変なときは。市民生活守る市政へがんばります

3月議会に提案される議案は37議案です。主なものでは、「市事務分掌の改正」として、「政策調整部」「市民部」「住宅課」の設置が提案されます。「市職員勤務時間・休憩」が変更され、昼休憩は12時から13時までとなります。

市長など特別職給与は今年度同様8%の減額。国民健康保険税介護保険分の最高限度額は現行9万円が10万円に引き上げ。敬老祝金は現行100歳30万円が10万円に引き下げ。新年度からは、幼稚園保育料も値上げがされるなど市民負担の強化がされます。

一般会計補正予算では、8億3000万円の増額

で、主なものは「第2次経済対策」で、国民の強い批判の中、強行されようとしている、「定額給付金」7億9530万円。子育て支援施策として、第2子以降(3~5歳)に対して一人3万6000円。その他、土木関係で農道舗装や道路維持、交通安全対策などです。

新年度の一般会計予算では、市民税が昨年度予算当初比で9億2242万円の減額。法人市民税の大幅な落ち込みが主な原因です。歳出では、市内企業への振興補助金は財政難を理由に昨年度当初予算比では大幅な減額をしています。また、建設が予定されていた有隣館については、規模の見直しを行うことになり、新年度当初予算には計上されませんでした。

やす民報

日本共産党野洲市委員会
2009年2月22日 170

暮らしのご相談・要望
お寄せください

小菅六雄
野並享子
太田健一

(電話・FAX) 589-4971

(電話・FAX) 587-0985

(電話・FAX) 588-3169

(メール) shgdy177@ybb.ne.jp

(メール) no73kyo_ka@ybb.ne.jp

(メール) kensan.world21@docomo.ne.jp